

第3回テーマ部会の進め方について

- 第3回テーマ部会は、以下の流れで開催し、テーマ部会としての今年度の成果のとりまとめを行います。

時 間	内 容	進め方
開会 30 分前 ～	集 合	・ 来場された方から自由に着席します
① 午前 10 時 ② 午後 2 時 ③ 午後 5 時	開 会	
5分	区挨拶	・ 区挨拶
10分	前回の振り返りと 本日の目的、懇談の進め方	・ 総合進行がPPTを基に、これまでの検討のおさらい懇談の進め方を説明します。
25分	懇談1：取組み内容の確認 (参加者全員で意見交換)	・ 第2回部会の懇談2で出された意見整理(参考資料-1)を基に、以下の内容について参加者全員で意見交換し、確認します。 ⇒取組みの方向性の文言や取組み内容のタイトルは適正か、取組み内容に過不足はないかなど
60分	懇談2：部会としての整理 (参加者全員で意見交換)	・ 引き続き参加者全員で、懇談1で確認した整理内容を踏まえ、取組み内容の重複確認とともに、参考資料-2の「参加者の思い」について意見交換を行い、文章化・整理します。 ⇒取組み内容に重複はないか、参考資料-2の文案が適切か、記述すべき事項はないか など
5分	整理内容のとりまとめ(事務局)	・ 懇談2の間に懇談1を踏まえ、参考資料-2の取組みの方向性と内容を修正。 ・ 懇談2を踏まえ、参考資料-2の取組みの思いの文章を修正。
10分	部会としての整理内容の確認	・ 各班で修正した整理内容(参考資料-2)を前面に写し、総合進行が読み上げ、成果を確認・共有します。
5分	今後の予定説明	・ 今後の予定について区から説明
計 120 分	閉 会 (①正午、②午後4時、③午後7時)	

『参考資料-1』について

- 同封しております「参考資料-1」は、第2回テーマ部会において、各班で意見交換し整理しました内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案し整理したものです（参考資料-1の次頁の当日整理写真と比較ください）。
- 参考資料-1は、懇談1で意見交換し確認します資料となりますので、当日までに、参加されたテーマ班の整理内容をご確認いただきご参加ください。

○第2回テーマ部会での意見交換内容や整理された取組み内容を踏まえ、取組みの視点と取組み内容との整合を勘案した取組みの視点のタイトル及び取組み内容です。

○当日は、懇談1で、取組みの視点・内容のタイトル、取組みの過不足について意見交換を行い、確認・共有します。

当日の懇談の 進行内容・視点・ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回の振り返りと合わせて、取組みの視点を再整理した。各取組みの視点に対し、『必要なものは何か?』、『どのように行うか?』、『どこでやるか?』の順に検討を進めた。ばらばらにある個人・個人、商店街をつなぐ新たな取組みが必要であることが確認された。また、そのためには、住民や商店街、行政による横断組織を立ち上げること、定期的に話し合いが可能なスペースの確保が必要なことも挙げられた。 		参考資料-1	
まちづくり 目標 人の集まる場づくり 【旗揚げしたテーマ】	取組みの視点(方向性)	【テーマの実現に向けた取組み】	①誰もが参加できる『話し合いの場』づくり ・高架下の空き店舗を活用して、月1回でもよいので話し合いやワークショップを行う ⇒区が公用というかたちで借りることができればなおよい。 ・地元住民、商業関係者、行政による、協議組織を立ち上げる ・JRの高架下の空き店舗 ⇒「西鉄みなみ」のような貸しスペース	
			(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり	②誰もが気軽に使える『活動の場』づくり ・既存の制度活用(空き店舗活用など)により、活動資金を確保 ・知らせ板の活用 ⇒駅にあるマガジンラックと合わせて ・駅なか
			(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり	①参加する人(住んでいる人、企業する人)が楽しめるイベントづくり ・各商店街の取組みが少なかった ・外部の人に参加してもらおう ⇒市側で企画は西鉄の住民が行い、お店を出す人は地区外の人とするなど ・外からのアイデアを集める ⇒商店街サポーターなどの制度構築 ・132号整備後の伏見通り ⇒バスルートが変更になるのでは?という想定から ・24の商店街をつなぐルート上でいろいろなイベント等を展開
				②各商店街が事業継承されるための仕組み作りが必要 ・各商店街の取組みが必要
				③(例)協議会の設置 ・132号線に関して検討を行う協議会組織が立ち上げられようとしている。区として協議会を認めてほしい

『参考資料-2』について

- 同封しております「参考資料-2」は、第2回テーマ部会において、各班で出された意見を踏まえ、取組み内容が出された際の参加者の思いを文章化したものです。
- 参考資料-2の参加者の思いは、まちづくり方針における取組み内容の内容説明文となるもので、懇談1を踏まえながら、懇談2で意見交換し文案ですので、当日までに、参加されたテーマ班の各取組み内容の文案をご確認いただきご参加ください。

○当日は、懇談2で、懇談1で整理した取組み内容を踏まえながら、整理した各取組み内容の文章化について意見交換を行い、整理・共有します。

○文章化にあたっては、「何のために」「何を」「どこで」「どのように」行うのかを念頭に置いて意見交換を進めます。

付加価値を生むまちづくり部会の整理

参考資料-2

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い(案)
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる「話し合いの場づくり」 ②誰もが気軽に使える「活動の場づくり」	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる「話し合いの場・活動の場」づくりを進めます。
		(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各商店が事業継承される仕組みづくりが必要 ※(例)協議会の開催	個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々(外部からのサポーターも含む)を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
	イベントづくり	(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を継承したつながりづくり ③地区外とのつながりづくり	町会や商店街、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。
		(2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり	インターネットやSNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。
		(3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの観点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用による仕組みづくり	個人店が多い西荻窪の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組みとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗助成や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。
		(2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①(例)仕組みづくり ②(例)仕事スペースの活用	若者のやる気を西荻窪の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため仕事スペース等の活用を推進します。
		(3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻のいっしょな文化を活かす ②子育て・教育環境	西荻の小洒落た文化のPR、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
	情報発信のプラットフォーム	(1)まちの話、発信したい情報収集 ①人の興味を引きつける内容 ②魅力的な内容がないと続かない	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募箱等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくりまします。
		(2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある	店先空間等を活用して情報発信の拠点(掲示板、まち案内所等)をつくりまします。
		(3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ふれま」などを実践されてきた方々の経験を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組むスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。

参考資料－1：第2回テーマ部会での意見整理

『付加価値を生むまちづくり部会』

- 前回の振り返りと合わせて、取組みの視点を再整理した。各取組みの視点に対し、『必要なものは何か?』、『どのように行うか?』、『どこでやるか?』の順に検討を進めた。ばらばらにある個人・個店、商店街をつなぐ新たな取組みが必要であることが確認された。また、そのためには、住民や商店街、行政による検討組織を立ち上げること、定期的に話し合いが可能なスペースの確保が必要なものも挙げられた。

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】
人の集まる場づくり

取組みの視点(方向性)	取組み内容
(1) 点(個人)と点をつなぐ仕組みづくり	<p>①誰もが参加できる『話し合いの場』づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高架下の空き店舗を活用して、月1回でもよいので話し合いやワークショップを行う ⇒区が公用というかたちで借りることができればなおよい。 ・地元住民、商業関係者、行政による、協議組織を立ち上げる ・JRの高架下の空き店舗 ⇒「西荻みなみ」のような貸しスペース <p>②誰もが気軽に使える『活動の場』づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の制度活用(空き店舗活用など)により、活動資金を確保 ・知らせ板の活用 ⇒駅にあるマガジンラックと合わせて ・駅なか
(2) 駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり	<p>①参加する人(住んでいる人、企画する人)が楽しめるイベントづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各商店街の取組みが必要 ・外部の人に参加してもらう ⇒市場で企画は西荻の住民が行い、お店を出す人は地区外の人とするなど ・外からのアイデアを集める ⇒商店街サポーターなどの制度構築 ・132号整備後の伏見通り ⇒バスルートが変更になるのでは?という想定から ・24の商店街をつなぐルート上でいろいろなイベント等を展開 <p>②各個店が事業継承されるための仕組み作りが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各商店の取組みが必要 ・ <p>③『(例)協議会の設置』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・132号線に関して検討を行う協議会組織が経ちあげられようとしている。区として協議会を認めてほしい

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

人の集まる場づくり

取組みの視点(方向性)	取組み内容		
<p>店(20人)と店の つなごう取組み (19.10)</p>	<p>何でいふ? (共通) 話し合場の場 (男性も参加可能) もくろみ書</p>	<p>活動の拠点 気軽に使える場所</p>	<p>「まち」どうだい? 誰</p> <p>高野下a 定店舗2 使った WP 2 申込 (区民 100名) 11月まで</p> <p>既存 = 仕組めた (定店舗 200名) → 活用 まち 2 (完全)</p> <p>お知らせ板 ← 地域情報 (JR+TOD) → ラフ (100) + 掲示</p>
			<p>組織者集 ＜ECC + A + B＞ B 面談 200名 の予定 10/25 場所 11/22</p>
<p>馬車を利用した 人々のつながり づくり場づくり</p>	<p>何でいふ? →</p> <p>各商店 の 取組みの場</p>	<p>住んでいる人から 集めることには 不安 [外へ出たところから こ]</p>	<p>どこで? どこで?</p> <p>外でのイベント を集める ↓ 商店街特設 13月まで</p> <p>各商店の 継承のための 仕組むこと</p> <p>132号で 伏見通りから バスが3.4分 ↓ 使い途がわかる</p>
	<p>外の人に呼び かけしこみ (建築者のため) - 布場など</p>		<p>24の商店街に イベントをあて てのイベント など。利用可能 づくり</p>

132 については
協賛会 立ち上げる
検討 中
10/25 15:00
区民 100

1/10 小泉功, 原田功, 三岡功

当日の懇談の
進行内容・視点・ポイント

- 西荻らしいイベントの内容は他のテーマの視点からもってくるとし、「西荻らしいイベント」を実行するための、「体制づくり」⇒「つながりづくり」⇒「目的」というフローごとにイベントづくりについて協議した

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】
イベントづくり

取組みの視点(方向性)	取組み内容 (取組み内容を.....としている)
コミュニティづくり ⇒(1)人のつながりによる体制づくり	①参画しやすいコミュニティづくり ・新規入居者などを巻き込んだ、 <u>多様な人が参加できる体制づくり</u> ②商店街や町会の枠を超えたつながりづくり ・商店街ごとの結束は強いが、他商店街とのつながりが弱い(弱い) ・ <u>横のつながりを意識したコミュニティづくり</u> ③地区外とのつながりづくり ・ <u>東京女子大学との連携</u>
情報発信・共有 ⇒(2)情報発信・共有によるつながりづくり	①参加者とのつながりづくり ・SNSなどを用いて、 <u>イベントに関する情報を発信・共有する</u> ②支援者とのつながりづくり ・ <u>イベントのできる貸しスペース(建物・敷地)の持ち主、参加したいアーティスト・飲食店等と情報共有</u> ・ <u>クラウドファンディング</u> ・ <u>アーティスト等の出場者から参加費徴収しイベントを実行</u>
西荻らしいイベント ⇒(3)西荻らしいイベントづくり	○イベント企画立案は、他のテーマの視点を入れ込み「西荻らしいイベント」にする ①入りやすいイベント ・ <u>地域で育てていけるイベント</u> ②小規模なイベント ・ <u>大きいイベントだと障壁も多く、最初は小規模なイベントから始めていく</u> ③音楽×食×酒 ・ <u>西荻窪にはアーティストが多く(子ども向けのアーティストも)、アーティストを巻き込んだイベント</u>

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】
イベントづくり

【テーマの実現に向

取組みの視点(方向性)

イベント
コミュニティ
グループ
までの
づくり
（手
）

情報発信

みんなが
共有
っていけ
るイベントづくり

目的・目標
(イベント)

入りやすい
イベント
(育ていく)

小さい
イベント
(はつきりと...)

イベント
やりたい人
おきこんでいく

支援者

イベント
やりたい人は
多い

3-テスト
参加費
(減らしている)

JRを
まきこむ

音楽・食・酒

子供向けの
3-テスト
も

コミュニティ
入りやすい
環境づくり

多様な人の
参加

新規参入者(子供)も
取り入れる？
(新しい)

商店街の
高齢化

横の
つながり

商店街ごとの
けこくは強いが
商店街同士の...

商店街
だけのイベント
ではなく

外との
つながり

大学などに
集る形で

知る
ことから
まきこむ

他の
コミュニティ
からの
視点

SNS
活動の発信

3-テスト
場づくり

イベントできる
箱おひらき
まきこむ

こち側
↑
↓
向こう側

貸スペース
の活用

3-テスト
参加して
まきこむ

そのための
情報発信

西オキ
らしい
イベント

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり 目標

西荻窪の魅力を活かしたまちづくり 【旗揚げしたテーマ】

取組みの視点(方向性)	取組み内容 (取組み内容を.....としている)
(1) 個人店が多い商店街を活かしたまちづくり	<p>① 地域の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none">・小売店で対面しながら地域の他の情報を発信する・祭りなどをいつ、どこで開催するかが分かるように店舗で発信する <p>② 起業や空き店舗の活用</p> <ul style="list-style-type: none">・出店のしやすさを活かした店舗誘致・起業支援・古民家を活かしたランチレストラン・空き店舗を活用したコミュニティスペース (案内・情報発信) <p>③ 空き店舗活用の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none">・空き店舗バンクによる情報の一元化
(2) 若者のやる気を引き出すまちづくり	<p>① 『(例) 仕組みづくり』</p> <ul style="list-style-type: none">・若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくり <p>② 『(例) 催事スペースの活用』</p> <ul style="list-style-type: none">・若者が利用しやすいように、催事スペースを活用する
(3) 特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり(成熟した魅力を守る)	<p>① 西荻の小洒落た文化を活かす</p> <ul style="list-style-type: none">・文化を活かした個々の取組みの情報の一元化 <p>② 子育て・教育環境</p> <ul style="list-style-type: none">・ファミリーサポートの取組み (18時以降の保育時間外の預かりサポート) のPR

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】



取組みの視点(方向性)

取組み内容

歩き回
個人商店の
多い商店街を
活かすまちづくり

小売店を
他の情報
発信

祭りなど、いつ
でもやるか
分かるように発信
店舗で

出店のしやすさを
活かして店舗
誘致・起業

古民家を活用
(カフェ、レストラン)

空き店舗を活用
(カフェ、コミュニティ
(実用・情報発信)
施設等)

空き店舗の
活用による
活性化

魅力あ
継承は
若者のや
つくり
を
まちづくり
継続し、
み

若者のやりたい
ことをおこなう
仕組み作り

集客スペース
の活用
(若者が利用
しやすい)

住居・店舗・子ども
近さ
子育て・教育
環境の整備
まちづくり

ファミリー
サポート
6時以降の
保育時間外の
保育サポート

西荻の小酒
文化を
活かす
まちづくり

個人取組の
情報
発信の文化

成り立
た魅力を守る。

鬼カカを
いかした
まちづくり
西荻窪の
魅力とは？
【旗揚げしたテーマ】

【テーマの実現に向けた取組み】

まちづくり
目標

【旗揚げしたテーマ】

情報発信のプラットフォーム

取組みの視点(方向性)	取組み内容
情報ソース ⇒(1) まちの話題、発信したい情報収集	①人の興味を引き続ける内容 ・ 周辺エリア・近隣エリアの方々の注目や興味がある内容を発信 ・ 個人の利用価値があること (ex. メルカリ的、物々交換的、実用性) ・ 防災などの情報も必要 ②魅力的な内容がないと続かない ・ 閲覧が伸びない→気持ちが続かない、運営が難しい
SNS発信の知らせる ⇒(2) まちなかでの情報発信拠点づくり	①情報発信していることを知ってもらう必要がある ・ 寄り易い、賑わい空間、場所で案内 (ex. 高架下、紀伊国屋、パチンコ屋) ・ 掲示板(目につけば見えてくる) ・ 口コミを誘う
仕組みづくり ⇒(3) 情報発信の継続的な取組み促進	①人の確保 ・ 高齢者の人材活用、週末ごとの当番制 ・ 「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ぷれま」などを実践されてきた方々の経験値を活かすため、勉強会を開催し、現場の意見を聞きたい。 ②場所の確保 ・ 見える場所でも活動：生きやすい、分かりやすい ・ 候補 マイロード内：紀伊国屋、パチンコ屋 ③システムづくり ・ 給与を支払える仕組み(ボランティアでは継続できない) ・ 起業希望者の登用(創業支援等への登録者)

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

情報発信のプラットフォーム
〔旗揚げしたテーマ〕

取組みの視点(方向性)	取組み内容
SNS発信	<p>人の経験末をひきつける内容が大切。</p> <p>継続あること → 個人の利用価値があること。 ex) X化の的、物理的・実用性</p>
仕組みづくり	<p>寄り添い 見易い 空間・場所。 ex) 言葉、経国屋、ペンコ屋。</p> <p>長策に</p> <p>提示種 (目には見えてる)</p> <p>口コミを誘う</p>
魅力的な内容がないと	<p>周辺エリア・近接エリアの おの注目も興味</p> <p>「西荻案内所」の参考意見を伺った。</p>
フックがない 開墾(伸びたい) 運営が難しい	<p>「西荻案内所」の参考意見を伺った。</p>

まちづくり
目標

【テーマの実現に向けた取組み】

取組みの視点(方向性)	取組み内容
人	<p>給与を払って (ポテンシャル Only) → 専収入</p> <p>高年齢者の人材活用</p> <p>団体の当番制</p>
場所	<p>行きやすい 中々いい</p> <p>候補 2人ロード内・経国屋の2号・ペンコ屋J&Aの3号 = 1号地</p> <p>↑ ex) 西荻の駅遠、3号地裏のお店が短期で利用 出張販売・認知度UP 収入</p>
システム	<p>起業希望者の登用</p>
<p>「西荻案内所」の方の経験値を活かしたい。 +西荻案内所 "沢小平" ⇒ 勉強会を実施したい 現場の意見をききたい。</p>	

付加価値を生むまちづくり部会の整理

まちづくりの目標	取組みの方向性	具体的な取組み内容	参加者の思い（案）
付加価値を生むまちづくり	人の集まる場づくり	(1)点（個人）と点をつなぐ仕組みづくり ①誰もが参加できる『話し合いの場づくり』 ②誰もが気軽に使える『活動の場づくり』	地区の活性化に向け、それぞれの活動等を共有、今後の活動等の検討ができるよう、誰もが気軽に参加できる『話し合いの場・活動の場』づくりを進めます。
	イベントづくり	(2)駅を利用している人たちが立ち寄れる場づくり ①参加する人が楽しめるイベントづくり ②各個店が事業承継される仕組みづくりが必要 ③（例）協議会の設置	個々の商店において円滑に事業継承されるとともに、関連する人々（外部からのサポーターも含む）を中心とした駅周辺の活力の維持・向上に向けた取組みを進めます。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)人とのつながりによる体制づくり ①参加しやすいコミュニティづくり ②商店街や町会の絆を超えたつながりづくり ③地区外とのつながりづくり	町会や商店街間、東京女子大学との連携など、人のつながりによる体制づくりを行います。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(2)情報発信・共有によるつながりづくり ①参加者とのつながりづくり ②支援者とのつながりづくり	インターネットや SNS、クラウドファンディング等を活用したイベントの参加者・支援者への情報発信・情報共有を推進します。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(3)西荻らしいイベントの実施 ①入りやすいイベント ②小規模なイベント ③音楽×食×酒	イベント企画立案・目的は、他の旗揚げテーマの視点を入れ込み「西荻らしいイベント」にします。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(1)個人店が多い地域特性を活かしたまちづくり ①地域の情報発信 ②起業や空店舗の活用 ③空き店舗活用の仕組みづくり	個人店が多い西荻窪の強みを活かし、各店舗における地域の情報やイベントの発信に取り組むとともに、空き店舗バンクなどによる空き店舗活用しやすい仕組みづくりにより、店舗誘致や起業支援、案内・情報発信機能としての空き店舗活用を推進します。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(2)若者のやる気を引き出すまちづくり ①（例）仕組みづくり ②（例）催事スペースの活用	若者のやる気を西荻窪の魅力につなげるため、若者のやりたいことを吸い上げる仕組みづくりとともに、若者が活動しやすい場の創出のため催事スペース等の活用を推進します。
	西荻窪の魅力を活かしたまちづくり	(3)特徴ある文化的資源を活かしたまちづくり ①西荻の小洒落た文化を活かす ②子育て・教育環境	西荻の小洒落た文化の P R、子育て・教育環境の充実を図り、成熟した街を形成します。
	情報発信のプラットフォーム	(1)まちの話題、発信したい情報収集 ①人の興味を引き続ける内容 ②魅力的な内容がないと続かない	商店街や幼稚園・保育園・小中学校・高等学校、大学、区役所との定期的な情報交換や情報募集箱等を設置するなど、発信したい情報を集める仕組みをつくります。
	情報発信のプラットフォーム	(2)まちなかでの情報発信拠点づくり ①情報発信していることを知ってもらう必要がある	店先空間等を活用して情報発信の拠点（掲示板、まち案内所等）をつくります。
情報発信のプラットフォーム	(3)情報発信の継続的な取組み促進 ①人の確保 ②場所の確保 ③システムづくり	「西荻窪案内所」「西荻窪ノート」「ふれま」などを実践されてきた方々の経験値を活かした勉強会を開催や情報発信に取り組むスタッフの確保、収入を得る仕組みを検討します。	